



令和7年 7月

余田小 学校だより



R7.7.4現在 55名
1年: 6名 2年:11名
3年: 7名 4年: 8名
5年: 6名 6年:17名

【学校教育目標】余田を誇り、「よ」き心と「た」しかな学びで生き抜く児童の育成

【めざす学校像】「言葉」を大切にし、生き抜く力を育むために、家庭や地域とともに歩む学校

【めざす児童像】学びを楽しめる子 ・ 自他を大切にする子 ・ たくましく生き抜く子

《文月》 暑さ盛る 熱く燃える 厚い心の余田小

校長 林 貴之

「今年は暑い」という語は、最早「今年『も』暑い」としか聞こえなくなった昨今の日本の夏です。どうぞご自愛ください。うだる暑さが盛る7月を迎えましたが、余田小は熱く、厚く活動を行っています。子ども達は暑さに負けない情熱でパワーをみなぎらせています。

先月の水曜日は、全週に亘って「水泳学習」を行いました。今年初めて、校区内にある「柳井スイミングスクール」のご協力で、運動会のダンス同様、プロの指導を受けられる機会をいただきました。水泳の性質上、記録写真はごさいませんが、最初はいささか緊張気味だった児童も指導を受けながら、存分に泳ぎ、水に慣れる時間を楽しむことができました。着衣水泳等「命を守る意識」を大切にした水泳授業も充分に行われました。これも余田地域のありがたさです。当日、参観いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。最終日に、好記録を目指して懸命に泳ぐ児童の姿を見て、私自身も水泳部顧問だった教諭時代をちょっぴり思い出しました。

続いて余田のありがたさ「農業体験」のご報告です。先月号で「米の種植え」や「梅もぎ」の体験をお伝えしましたが、更に今年も多くの方のご協力を得て、5・6年生が「田植え」、3・4年生が「梅ジャムづくり」を行いました。泥だらけを楽しみながら、せっせと働く（植える）活動や自分で収穫した梅の実を煮詰めて甘酸っぱいジャムにする活動は、楽しい中で苦労や時間の大切さを体験できる貴重な機会となりました。

＊ジャムづくりにいそしむ3・4年生→



＊田植えにいそしむ5・6年生↑



＊願いごとが星の数ほどです↑

「言葉を大切にする余田小学校」の話題を二つ。図書室では、7月らしく、七夕飾りがしつらえてあります。もちろん短冊に児童が自由に夢や願いごとを綴っています。加えて、図書室らしく司書の先生が「夢を叶えるお手伝い」として、それぞれの短冊（願いごと）に「おすすめの本」を紹介しています。また、委員会企画でチャレンジ目標(毎日読書1日〇分)達成に向け、9月開催予定の「ビブリオバトル」の準備も着々です。感想文や感想画の課題図書も揃いました。保護者向けに本の貸し出しも行っていますので、どうぞ「言葉の宝庫・図書室」へお立ち寄りください。



更に、昨日は地域のグループ「おてがみ」さんによる「読み聞かせ」が行われました。各クラスで、お話の世界に浸かり、優しく楽しい言葉のシャワーをいっぱい浴びた子ども達は、暑い夏に心が涼やかになっていました。ありがとうございました。

← ＊絵本の世界に入り込んで夢中の様子です。

命を守る授業。心肺蘇生・AED講習

6月14日、ご参観ありがとうございました。5・6年生は柳井消防署の「命を守る授業」を受けました。子どもたちにとっても、救助・救命活動で様々なことを体験されてきた消防士の方の「みなさんの命は全部大事です。重いも軽いありません。」という言葉は、ずっしりと重く感じる言葉だったようです。そのあとの、胸骨圧迫やAEDの実技講習にも力が入り、真剣な眼差しで学んでいました。



ご安全に！交通安全教室

6月19日、3・4年生が柳井警察署の方から自転車の日常点検や安全な乗り方についてご指導いただきました。自転車も車両であることを意識し、右左折や横断のときに、しっかりと安全確認をして楽しく運転できるといいなと思います。安全運転・ヘルメット着用の見守り、声掛け、よろしくお願いします。



苦手なものも一口は食べよう！食育指導

6月24日、1年生が給食センターの満田栄養教諭から、食事の役割・大切さに関する授業を受けました。食べ物には、それぞれ健康を保つ働きやみんなの成長を助ける働きがあることについて、わかりやすく教えていただきました。給食も家庭での食事も、苦手なものでもしっかりと食べて、元気にかしこくたくましく成長してほしい。子どもたちへの思いは、学校も家庭・地域も一緒だと思います。



＊お知らせ＊

今年度の2学期始業式は、**8月25日曜日**となります。児童55名全員がそろって、笑顔あふれるスタートを切れたらと思います。

また、**9月4日(木) 人権参観日・講演会**があります。ご参加よろしくお願ひします。

災害発生？！引渡し訓練

6月27日、余新3校合同引渡し訓練、御協力ありがとうございました。保護者の皆様のご協力のおかげで、スムーズに引渡しを実施できました。全国的にみると不審者等への対応で、実際に引渡しが必要になるケースも起こっています。余新では訓練以外で使うことがないことを願っていますが、引渡しカードは日頃から携帯いただきますようお願いいたします。